

〔参考二〕 国語仮名遣改定案並字音仮名遣ニ関

スル説明大要（高等教育会議における

主任者の説明）

去月高等教育会議ニ諮問シタル事項中国語仮名遣改定案並字音仮名遣ニ関スル事項ノ二件ニ対シテハ該會議ニ於テ重要ノ問題ナルヲ以テ十分講究ノ必要アリ依テ他日ヲ俟チテ更ニ諮問アラシコトヲ望ムトノ答申アリタリ就テハ文部省ニ於テハ之ヲ宿題トシ世人ト共ニ之ヲ研究スルノ必要ヲ認ムルヲ以テ該會議席上ニ於テ主任者ノ為シタル説明ノ大要ヲ茲ニ掲載シテ世人ノ参考ニ供ス

去月二十五日
本欄内参看

（文部省）

国語仮名遣改定案ノ説明大要

国語仮名遣改定案ヲ説明スル前ニ勢ヒ字音仮名遣制定ノ旨趣ヲ一言スル必要アリ抑モ仮名遣ニハ字音仮名遣ト国語仮名遣トノ二種アリ字音仮名遣ハ漢字音ノ仮名遣ニシテ国語仮名遣ハ純粹ナル我国語ノ仮名遣ナリ明治三十三年八月ニ省令ヲ以テ定メラレタルハ即チ字音仮名遣ナリシナリ何故ニ字音仮名遣ノ規定ヲ必要トシタルカ元來昔ノ教育法ノ如ク仮名ヲ一トフルヲ方針トシタル時代ニハ仮名遣ノ如キニハ格別ノ問題起ラサリシナリ例ヘハ茲ニ学校ト云フ語アリトセンニ始メヨリ学校ト云フ漢字ヲ教ヘ之ヲ眼ニ触レシムルヲ以テ仮名ニテハ如何様ニ綴ルカヲ穿鑿シテ教フルノ必要ナカリシナリ然ルニ

今日ノ国語教育法ニ於テハ国語ソノ物ヲ教フルヲ眼目トスルト同時ニ漢字ノ如キハ実用上適切ナルモノニ限り務メテ之カ数ヲ節減スルノ方針ニテ即チ多クノ漢字ヲ児童ノ脳裏ニ注入スルコトヲ避ケ児童ノ心力ニ応スル様ニ漢字ヲ徐々ニ提出シテ教フルノ方針ナレハ始メハ仮名ヲ以テ總テノ言語ヲ綴リ次ニ仮名ノ言語ヲ連ネタル文即チ純粹ノ仮名文ヲ出シ夫レヨリ漸次ニ少シツ、漢字ヲ交ヘタル文章ヲ教ヘサルヘカラス故ニ学校ト云フ語ノ如キモ初ハ仮名ニテ教フルナリ是ニ於テ学校ノ校ノ字ノ類ノ音ニ於テ之ヲ如何ニ綴ルヘキカヲ穿鑿スルノ問題起ルナリ

字音仮名遣ニ就テハ古來學者間ニ定マリタル非常ニ精細ナル遣ヒ分ケアリ均シク「コー」ト発音スル仮名ニカウ（校）カフ（甲）コウ（公）コフ（劫）クワウ（皇）ノ區別アリ均シク「ノー」ト発音スル仮名ニナウ（腦）ナフ（納）ノウ（農）ノ區別アリ又均シク「ホー」ト発音スル仮名ニハウ（方）ハフ、ホフ（法）ホウ（奉）ノ區別アリ此ノ如キハ學習ニ困難ニシテ大人ト雖モ専門學者ニアラサルヨリハ記憶スルニ難シトスル所ナリ況ンヤ児童ヲヤ而シテ万障ヲ排シテ之ヲ學習スルモ殆ト何等ノ効益ナキモノナリ畢竟普通教育ニ於テ字音仮名遣法ノ不用ヲ認メタルニ依リ種々ノ區別ヲ排シ就中長音ニ屬スルモノノ如キハ一ヲ用ヒテ発音ノ儘ヲ写ス所ノ簡便ナル新定字音仮名遣法ナルモノカ規定セラレタルナリ

以上ハ字音仮名遣法発布ノ精神ニシテ同法発布以来小学教育上ニ於テ便利少カラサルコトハ疑ヲ容レサルコト、認ムルナリ唯議論トシテカ文章ノ美觀ヲ損スルトカ平仮名文トノ調和ヲ欠クトカ云フカ如キノ声ヲ聞ケルノミ苟クモ普通教育ニ従事シ居ル人ヨリ古来ノ旧仮名遣ヲ挽回セントスルカ如キ議論ハ出テサリシナリ然ルニ小学教育ノ實際ニ於テ一ノ考慮スヘキ事情ヲ生シタリコレハ字音仮名遣ノミ発音的ニシテ国語仮名遣ノミ歴史的ナルコト即チ仮名遣上統一ヲ欠クコトヨリ起ル不便ハ如何ト云フ問題ヲ生シタルナリ實際児童ニ教フルニ当リテ何レカ字音ニシテ何レカ国語ナルヤ區別シテ会得セシムルコト困難ナルヲ以テ児童ハ自然字音ノ仮名遣ヲ国語ニ応用シ又ハ国語ノ仮名遣ヲ字音ニ用フルカ如キ弊ニ陥レリ例ヘハ孝行ノ孝ハ字音ナルカ故ニ「コー」ト書キ蝙蝠ノ「コー」ハ国語ナルカ故ニ「カウ」ト書キ奉公ノ奉ハ字音ナルカ故ニ「ホー」ト書キ葬ノ「ホー」ハ国語ナルカ故ニ「ハウ」ト書クヘキニ拘ラス児童ハ遠慮ナク国語ニモ一ヲ用フルノ傾ヲ生シタリ加之国語仮名遣ニ特有ナル仮名遣モ少カラスはトわノ如キ其一例ナリくわゐ(烏芋)ノわハ和行ナルニ拘ラスくは(桑)ノはハ波行ナルカ如シ又均シクイト発音スル語ニモイトひとゐトノ三様ノ區別アリかい(櫃)ノいハ阿行、ひたひ(額)ノひハ波行、ゐのしし(猪)ノゐハ和行ノ如シ是等ノ国語仮名遣ヲ学習スルノ困難ハ字音仮名遣ヲ学習スルノ困難ニ譲ラサルナリ

是レ亦一ノ問題ナリ固ヨリ昔ノ教育法ノ如ク初ヨリ漢字ヲ多ク教フル主義ナレハ是等ノ問題ハ等閑ニ附スルモ可ナレトモ今ノ国語教育法ノ主義ヨリシテ国語仮名遣法ノ非常ニ大切ナル問題トナルノ次第ハ字音仮名遣ニ関スルコト、同様ノ次第ナリ之ヲ要スルニ右等ノ事情ヨリ教育社会ニ於テモ字音仮名遣法制定以来何トカ矯正ノ法ノ一日モ早ク立テラレンコトヲ希望シ居ルモノノ如シ固ヨリ国語仮名遣ノ困難ナルコトハ新定字音仮名遣制定以前モ以後モ変ラサルコトナレトモ字音ニ関シテ現ニ簡便ナル仮名遣ノ行ハル、アレハ之ト歩調ヲ一ニスル為特ニ国語仮名遣法改正ノ必要ヲ認メラル、ニ至リタルナリ此問題ニツイテハ当局者ニ於テ常ニ苦心考慮シ居ル所ナルニ国定教科書大修正ノ場合迄ニハ何トカ決定シタシトテ種々攻究ノ結果教科書調査委員会ニ於テ討議ノ上決定シタルモノ即チ本諮問案ナリ而シテ本案ハ大体ニ於テ新定字音仮名遣ノ精神ヲ拡充シ歴史的ノ仮名遣ヲ排シテ発音的ニナサントスルモノナリ唯少々ノ除外例ハ之ヲ存シタリ今本案ニ於ケル三十余条ノ中重ナル事項ニツイテ説明セン

一 お(阿行)ヲを(ワ行)ニ改ムルコト(第一条) ワ行ノをト阿行ノおトハ言語ノ中ト下トニ用フル場合ニハ間違ナケレトモ言語ノ上ニ来ルトキニ誤リ易シ言語ノ上ニ来ル場合ニハ阿行ノお多ク中ト下トニハをノミナリ然レトモ此遣ヒ分ケハ随分古クヨリ乱レ居リテおノ代リニをヲ用ヒタル例多

キノミナラスをハ語ノ上中下ニアルト且天爾遠波ハ総テをナルトニヨリ寧口をニ一定シタルナリ此結果緒言ニモアル通五十音図中阿行ノおハをト改ムルコト、ナル

二 ゐヲイト改ムルコト(第九条) ヲ行ノゐヲ用フヘキ場合ハ名詞ニモ動詞ニモアリ其遣ヒ分ケハ困難ナリ依テ之ヲイニ改ム是ハ字音仮名遣法ニ於テハ既ニ実行シタル所ナリ而シテ本改正ノ結果五十音図中ワ行ノゐハイト改ムルコト、ナル

三 ゑヲえ又ハよニ改ムルコト(第十一条 第二十三条) ゑトえトハ名詞ニモ動詞ニモアリテ其遣ヒ分ケ亦困難ナリ依テえト発音スルゑハえニ改メタリ是レ亦字音仮名遣法ニテハ既ニ一定シタル所ナリ而シテゑヲよト発音スル場合ハよト改メタリ結局ゑヲ存スルノ必要ナケレハ五十音図ノゑハえト改ムルコトトナル

四 ぢトじ、づトず(第十二条 第十三条) 藤ハふぢ富士山ハふじさん、水ハみづ、鼠ハねずみノ如キ仮名遣ハ是レ亦困難ナリ且ぢぢ、づづノ區別ノ存在スル地方ハ九州ノ一部四国ノ一部ニシテ極メテ僅ナレハ此區別ヲ廢シテじずトセリ但シ二語連合ノ音便ニ依リテ生シタルぢづ同音ノ連呼ニ依リテ生シタルぢづ例ヘハひぢりめん、かなづかひノぢづ等ハ從來ノ法ノ儘ニセリ是ハ日本語ノ性質トシテ少クトモ仮名ヲ用フル間ハ二語連合ノ音便ノ場合等ニ於テ元ノ仮名ノ聯

想ヲ重シ元ノ仮名ノ濁リタルモノヲ保存スルコト他ノ仮名ノ二語連合ノ音便ノ場合例ヘハ人々ヒトビトクニグニノ如クスル方穩当ナリトノ説ニ從ヒタルナリ故ニ此場合ハ純粹ニ発音的ノ仮名遣ヲ採用シタリトハ云ハレス全ク除外例カ生シタルナリ

五 わいうえト発音スルはひふへハ夫々發音ノ通ニシタルコト(第二条 第三条 第五条 第七条) 此改正ノ為ニ波行活用ノ動詞カ和行ニ代リ並ニ天爾遠波ノハナトモわニ代ルコトトナルナリ

六 長音ノコト 長音ハ彼新定字音仮名遣ノ規定ニ準シテ用ヒテ表記スルヲ原則トセリ長音ニ関シテハハ妙ナラス阿列以列宇列江列於列ノ長音ニ対シテ夫々ニあいうえおヲ用フヘシトスル説ト阿列ノ長音ニ対シテあヲ用ヒ以列江列ノ長音ニ対シテいヲ用ヒ宇列於列ノ長音ニ対シテうヲ用フヘシト云フノ説トアレトモ採ラス一ヲ用フルコト、シタルナリ尤モ動詞ノ語尾ニシテ一ニ当ルモノ並ニ動詞形容詞語尾ノ音便及未來助動詞ウカ種々ノ仮名ニツキタル場合ニ限り一ニ当ルモノハうヲ用フルコト、シタリあとう(与)、うとう(歌)、「こうて(請)、よう(善)」、「ゆこう(行)、きこう(聞)ノ如シ或ハ是等ノ長音ノ場合ニ一ヲ用ヒサレハ學習上矢張困難ナラントノ批評モアランナレトモ是等ノ場合ハ寧口覺エ易キ一定ノ規則ヲ守ラシムルコト、スレハ差シタル困難ナキノミナラス一ヲ用フルトキハ漢字交リ文ニ於テ請、善、

ナト、スヘクシテ調和甚タ面白カラス依テウヲ用ヒタル次
第ナリ

以上ハ改正案文ニツイテノ説明ナリ尚緒言中ニ於テ説明ヲ要
スルコトアリ

一 口語文語共ニ適用スルコト 本案調査ノ際ニモ是ハ口語
ノミニ用フルハ可ナレトモ文語ニハ不可ナリ文語ニハ古來
歴史的ノ仮名遣トシテ存ス今之ヲ改ムルトキハ社会一般ノ
普通文以外ニ更ニ仮名遣ノ違ヒタル一種ノ普通文ヲ新奇ニ
現出スルコト、ナリテ不都合ナリ元來國語上理想トシテハ
普通用トシテハ口語文ヲ用ヒシムルコト、シ今ノ所謂普通
文ハ漸次之ヲ古文トシテ一般ニハ用ヒサルコト、セサルヘ
カラス故ニ之ニハ少シモ手ヲ著クル必要ナシ唯近來發達セ
ントスル口語文ニコソ簡易ナル発音的仮名遣ヲ用フルヲ可
トス而シテ小学校ニ於テハ高等二年位迄ハ新シキ仮名遣ヲ
応用セル口語文ノミヲ以テ進ムヘシト云フ説アリタリ是ハ
理想トシテ一応尤モナル説ナリ然シ實際ニハ不可ナリ抑モ
普通文ハ小学校ニ於テ之ヲ全廢スルハ尚ホ早シ其故ハ社会
ニ於テ法令新聞日用文等ニ関シ普通文尚ホ広ク行ハレ口語
文ノ応用ハ尚極メテ少ケレハナリ果シテ然リトスレハ小学
校ニ於テハ其分量ハ姑ク置キ兎ニ角所謂文語ヲモ教授セサ
ルヘカラス然ルニ文語ト口語ト仮名遣ヲ別ニスルカ如キハ
非常ナル錯雜ヲ起シ教授上困難ヲ來スヘシ且又實際我々ノ

大人カ之ヲ実行セサルヘカラストシテモ極メテ不便ナリ口
語文ニテハ「コレワシヲデアル」トシ普通文ニテハ「コレハ
シホナリ」ト書キ分クルカ如キハ面倒ニアラスヤ口語文ハ
普通文ト全ク別体ノ文字例ヘハ新字又ハ羅馬字ノ如キモノ
ヲ使ヒテ書クナラハ差支ナカランモ普通文ト同一ナル漢字
及ヒ仮名ヲ用フル間ハ困難ナルコトナリ國定尋常小学読本
卷六ニ

文太郎は一月一日の朝早くおきて妹とともに父と母とに
「おとうさん新年おめでたうございませうございませうおあざさん新年
おめでたうございませう」といひて新年の祝をのべたり

トアリ右ノ如キ文語口語混淆文ニ於テ仮名遣ヲ異ニスルコ
ト行ハルヘキヤ否ヤ又小学教育ニ用フル韻文ノ如キ之ヲ皆
必ス口語体ニ改ムルコトハ困難ナレハ「今日のよき日は大
君のうまれたまひし吉き日なり」ノ如キ韻文ヲ早く教フル
場合アルヘシ故ニ散文ハ総テ口語体トシテ新仮名遣ヲ用フ
ルト同時ニ韻文ハ文語体ヲ存シテ旧來ノ仮名遣ヲ用ヒサル
ヲ得サルカ如キハ甚妙ナラス故ニ是等ノ事情ヨリシテ恰モ
字音仮名遣カ口語ニモ文語ニモ適用スルコト、ナリ居ルカ
如ク改定國語仮名遣モ亦口語ニモ文語ニモ共ニ適用スルコ
ト、ナシタルナリ

二 中等教育ノ学校教授上ニモ適用スルコト 是ハ中等教育
ニ於テモ仮名遣ヲ満足ニ教授スルコトハ困難ナルノミナラ

ス仮名遣ノ如キハ両教育別々ニスヘキモノニアラス若シ前
述ノ如ク口語文語共ニ適用スルモノトセハ両教育別々ニス
ルノ益々不可ナルコト殆ト弁ヲ費ス迄モナキコトナリ
次ニ参考トシテ添付シタル国語仮名遣別案ニツキテ一言セン
別案ハモト主務課ニ於テ調査シタルモノニシテ本省ノ教科書
調査委員会ニ提出シタルトモ同会ニ於テ少数意見トナリタル
モノナリ別案ハ旧キ仮名遣ニ違フ所アルト同時ニ悉ク理想通
リノ改正ヲナサス畢竟一箇ノ折衷案ノ如キモノニシテ一見姑
息ノ如クナレトモ其実際ニ於テハ却テ穩当ナル改正法ナリト
調査者ハ之ヲ信シ居レリ本案ニハ別ニ理由書ヲ附シタルハ其
精神ハ該理由書中ニ明カナリ本案ニ從ヘハ世間通用ノ漢字交
リ文トハ衝突極メテ希ナリ乃チ本案ニ参照トシテ出シタル最
後ノ漢字交リ文ヲ見ラルヘシ殆ト何等ノ衝突ナシ衝突スル所
唯振仮名ノ或部分ニ止マレリ元來動詞等ノ活用ヨリ起ル仮名
遣ト天爾遠波トニ変化ヲ及ホサ、ルコトハ本案ノ精神ナリ而
シテ動詞等ノ活用ヨリ起ル仮名遣並ニ天爾遠波ハ漢字交リ文
ニ於テ仮名ヲ以テ表記セラレタル部分ニ当ルヲ以テ之ニ変化
ヲ及ホスコトハ忽チ世間ノ慣用ニ反クコト、ナルナリ加之是
等ノ部分ノ仮名遣ハ活用セサル語ノ仮名遣等ト異ナリ簡易ナ
ル一定ノ規則ニ依リテ學習シ得ヘケレハ學習上比較的容易ナ
リ現ニ一般ノ人モ少シク教育アル者ハ此ノ如キ仮名遣ヲ誤ル
コトナシ故ニ是等ノ仮名遣ハ姑ク之ヲ保存シ極メテ困難ナル

仮名遣、専門学者ヲ除クノ外一般ノ人ノ記憶シ居ラサル仮名
遣、即チ今日我民族ノ慣用ヨリ見テ最モ不自然トモ謂フヘキ
仮名遣ヲ廢スルコトハ事宜ニ合シタル改定法ナランカ若シ漢
字全廢ヲ理想トセンカ漢字節減ヲ過渡ノ時代ノ一現象トスヘ
キカ如ク仮名遣全廢ヲ理想トセンカ仮名遣節減ヲ過渡ノ時代
ノ一現象トスルモ差支ナカラン歟以上ハ別案調査者ノ意見ノ
大要ナリ諮問案ノ審議上参考ノ価値アルヘシ
終リニ臨ミテ参考ノ為ニ配布シタル仮名遣成績表ニ付一言セ
ン是ハ其凡例ニ記セル通吉岡図書審査官カ熊本宮崎ノ二県ニ
出張ノ際小学校中学校高等女学校ニ於ケル仮名遣學習ノ程度
ヲ試験シ其結果ヲ統計シテ一覽表ニ製シタルモノナリ此表ヲ
見レハ如何ニ国語仮名遣ニ於テ學習ノ困難ナルモノアルヲ知
ルヲ得ン即チ甚シキハハヲワト読ム場合多キカ為ニ某々ノ尋
常小学校ニ於テ「笑フ」ヲ「はらふ」ト書セルモノアリ是ハ歩合
ニシテ三十二乃至四十三パーセントノ多キニ達セリ又某高等
小学校ノ二年ニ於テ尚同様ノ誤ヲナセルモノ二十一パーセン
トアリ又字音ト国語トヲ區別スルコトノ難クシテ如何ニ字音
ノ仮名遣ヲ国語ニ及ホセルカヲ知ルヘシ即チ某尋常小学校ニ
於テ「咲かう」ヲ咲コトト書ケルモノアリ「いふ」ヲゆト書ケ
ルモノアリ某高等小学校ニ於テ「逃げよう」ヲ「逃ゲョー」ト書
クモノアリ又之ト反対ニ国語ノ仮名遣ヲ字音ニ及ホシ某高等
小学校ニ於テ運動ヲウインドト書カスシテウインドウト書ケル

モノモアリ又国語仮名遣ニ於テえヲヘト書クヘキ場合多キカ
為ニ某尋常小学校ニ於テ字音ノえヲヘト書クモノアリ即チ公
園ヲこーへんと書クモノモアリ中学校高等女学校ニテモ殆ト
同様ニシテ国語仮名遣ノ学習ニ困難シ居ルハ此成績表ヲ觀レ
ハ一日瞭然タリ殊ニ旧来ノ字音仮名遣ノ如キハ中等教育ニ於
テモ絶対的ニ困難ノモノタルハ此成績表ノ明示スル所ナリ而
シテ是等ノ状態ハ熊本宮崎二県ノ教育カ他ヨリ劣等ナルカ為
ニハ非ス全国諸県ノ数万ノ小学校又ハ中学校等ノ状態モ熊本
宮崎両県ニ於ケルト大同小異ナラント信ス抑モ中等教育ニ於
テハ漢字ヲ多ク学習スルモノナレハ仮名遣ノ如何ハ比較的ニ
重要ナル問題トナスニ足ラサレトモ漢字ヲ多ク教フルコト能
ハサル小学教育ニ於テ此成績表ニ於ケルカ如キ結果ヲ示セル
ハ坐視スルニ忍ヒサル所ナリ世間或ハ仮名遣ノ問題ハ単ニ教
科書編纂ノ便宜ノ為ニ起レルカト思考スルモノアラソモ決シ
テ然ラス編纂ヲナスニハ旧仮名遣ニ依ルコトハ却テ易々タル
ノミ唯現在ノ教育ノ實際ニ於テ一日モ速ニ之ヲ改正スル必要
ヨリ随テ如何ニ改正スヘキカノ問題ヲ生シタル次第ナレハ篤
ト之ヲ諒セラレテ審議セラレタキモノナリ

字音ニ関スル事項ノ説明大要

国語仮名遣ノ改定ニ伴ヒテ改正ヲ要スル所アルト現行字音仮
名遣法ニ不備ノ点アレハ之カ補正ヲ必要トスルコト、ハ本案
ノ精神ナリ今逐次説明スヘシ

一 おヲをニ改メおーヲをーニ改メタルハ国語仮名遣改定ニ

伴ヒタルナリ

二 か、が及び、ずノ下ノ附註ヲ削除スルモ亦然リ但シク
わ、ぐわハ字音ニノミアリテ国語ニハ無キ発音ナルモく
わ、ぐわト発音スル地方ハ全国ニ於テ比較的ニ少シ故ニ寧
ロか、がニ一定セントスルナリ

三 二十二項ヲ加ヘタル中えい以下ゑい迄ハ全国ニ於ケル発
音ノ傾向一般ニ鑑ミ又東京語ニ標準ヲ取り茲ニ長音ト認メ
テーヲ用フルコト、シタルナリ

四 二十二項中くう以下ノ八項ハ字列ノ長音ニ属スルモノニ
シテ新定字音仮名遣法中ノ不備ヲ補ヒタルニ過キス字列ノ
長音ニ関シテハ也行ノゆーノミカ規定セラレテ其他ノ行ニ
就テハ何等ノ規定ナシ今此欠漏ヲ補ヒ他ノ行ニ関シテモ也
行ト同様ニ定メタルナリ

五 中等教育ノ学校教授上ニ実行セントスルハ中等教育ニ於
テモ字音仮名遣ノ如キモノヲ教授スルノ必要ナキノミナラ
ス此ノ如キ法則ハ国語仮名遣ト同シク小学教育ニ於ケルト
異ニスヘキモノニアラスト認メタレハナリ加之世間ノ文学
ニ筆ヲ染ムル者ハ中等教育ヲ受ケタル者カ多カルヘキ筈ナ
ルニ一方ニ此ノ如キ人カ旧来ノ仮名遣ヲ使用シ他方ニ大多
数ノ国民即チ小学教育ヲ受ケタル者ハ一ヲ習ヒ乍ラ一般ノ
文学ヲ讀ムトキニハ自己ノ習得シタル所ト異ナル書方ニ接
セサルヘカラサルハ不都合ニアラスヤ此關係ハ国語仮名遣
ノ場合ニ於テモ固ヨリ然リトスル所ナリ